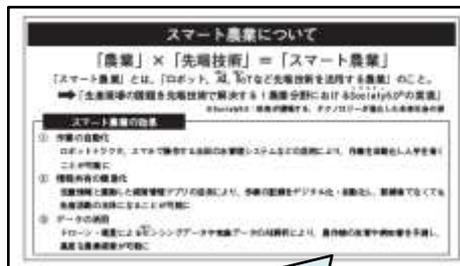


調査問題から見える「授業改善のポイント」＜中学校 国語＞

2三 自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことができるかどうかをみる問題 [書くこと] <平均正答率 県 49.6% (全国比+3.1)>

調査結果の分析

- ・ 考えの根拠となる事例を引用して書く際に、引用部分をかぎかっこ（「 」）でくることができなかつた生徒は39.0%である。
- ・ 資料から必要な情報を引用する際に、適切に引用して書くことに課題がある。



考えの根拠となる事例を、資料から引用して書く

【授業改善のポイント】

○文章や図表などを引用して事実や自分の考えを伝える文章を書く学習活動の充実を図る。

- 活動例
- ・ 考えの根拠を本やウェブサイトなどから引用する際に、取り出した情報が、自分の伝えたいことの根拠としてふさわしいかどうかを検討する。
 - ・ 書いた文章を読み返し、引用部分をかぎかっこ（「 」）でくくっているか、元の文章を変えずにそのまま抜き出しているか、引用する量は適切か、また、出典を明示しているかを確認する。
 - ・ 書き手の目的と意図を理解したうえで、引用部分が考えの根拠として適切かなどについて話し合う。

3三 場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写を基に捉えることができるかどうかをみる問題 [読むこと] <平均正答率 県 57.8% (全国比-4.2)>

調査結果の分析

- ・ 登場人物の行動や心情を、場面の展開に沿って正しい順番に並べることができなかつた生徒は、42.2%である。
- ・ 描写を基に、場面の展開や登場人物の心情の変化を捉えることに課題がある。



「おれ」の行動や心情の変化を、話の展開に沿って整理する

【授業改善のポイント】

○場面の展開を大まかに整理する学習活動を意図的に設定する。

- 活動例
- ・ 登場人物の様子や相互関係を、場面ごとに図に整理し、話の展開に沿って並べ替える。
 - ・ 自分の選んだ作品のあらすじをまとめて伝え合い、作品を読み合っ内容適切に表現することができているかを確認する。

○事象や行為、心情を表す語句の量を増し、描写を基に登場人物の心情の変化を捉える学習活動の充実を図る。

- 活動例
- ・ 事象や行為、心情を表す様々な語句や表現の意味、用例などをノート等へ書き留め、多様な場面で意識的に活用する。
 - ・ 心情を表す言葉や表現を場面ごとに取り上げて、それぞれの場面の中でどのように変化しているかを説明し合う。